

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7179

件 名	市道 495 号線舗装改修工事	
履行場所	海老名市 社家二丁目 地内	
工 期	令和 7 年 11 月 21 日～令和 8 年 2 月 27 日(99 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	5,489,000 円 (税込)	4,990,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010 土木一式 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。	
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり（第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 <u>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（3箇所）にマスキング（黒塗り）をして提出してください。</u>		

市道495号線舗装改修工事
海老名市 社家二丁目 地内
案 内 図



施工条件明示書（土木工事共通）

1、工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	市道495号線舗装改修工事		
工事場所	海老名市 社家二丁目 地内		
工事目的	本工事で排水構造物を敷設することにより、沿線住民の住環境及び利便性向上を図る。		
工事概要	施工延長 L=58.9m 幅員 W=3.8m～4.0m 1 撤去工 1.0式 1 土工 1.0式 1 排水工 1.0式 1 舗装工 1.0式 1 付属施設工 1.0式 1 仮設工 1.0式		
契約工期	令和7年11月21日 から 令和8年2月27日 まで		
事業区分	☐	補助金事業	☐ 国庫
			☐ 県費
	☒	市単独事業	
設計区分	☒	単独積算	
	☐	合算積算	工事
			工事

2、積算諸条件

主たる工種	:	道路改良工事
施工地域・工事場所区分	:	一般交通影響あり(2) (DID補正)
契約保証の方法	:	発注者が金銭的保証を必要とする
施工パッケージの使用（一部使用含む）	☒ 有	☐ 無
週休二日制確保工事該当の有無	☐ 有	☒ 無
【使用歩掛及び単価等】		
☒ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	7 年 7 月
☒ 諸経費率	適用年版：令和	7 年 7 月
☐ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年 版
☒ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	7 年 9 月
☒ 刊行物	適用年版：令和	7 年 7 月
☐ 特別調査	適用年版：令和	年 月
☐ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	年 月
☒ その他（単独見積もり）	適用年版：令和	7 年 4 月

3、施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	☒ 無	(他工事件名等)
			☐ 有	
	2	当工事における施工時期の制約について	☒ 無	(制約を受ける施工内容等)
			☐ 有	
	3	施工時間について	☒ 昼間施工	(その他特記事項)
			☐ 夜間施工（一部含む）	
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	☒ 無	(関係機関名)
			☐ 有	

	5	工事着手前に地上物件（家屋調査）、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	☒ 無 ☐ 有	（対象内容）
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。			
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	☐ 無 ☒ 有	（詳細内容、作業不能日数等） 年末年始 6日間
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について（用地買収状況について）	☒ 無 ☐ 有	（用地未取得部分等） （取得予定年月日等）
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	☒ 無 ☐ 有	（使用場所、期間、借用条件、復旧方法等） 使用場所： 期間： 借用条件： 復旧方法：
	3	使用後の復旧条件	☒ 無 ☐ 有	（復旧内容等）
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	☐ 無 ☒ 有	（建設機械と制限内容） 騒音規制法・振動規制法 （作業時間と制限内容） 騒音規制法・振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	☒ 無 ☐ 有	（対策内容）
【4】 安全対策関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	☒ 無 ☐ 有	（指定内容）
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	☐ 無 ☒ 有	（対象内容） ☐ 鉄道 ☒ ガス ☐ 電気 ☐ 電話（埋設） ☒ 上水道 ☒ 下水道 ☐ その他（ ）
	3	交通誘導員の配置について	☐ 無 ☒ 有	（1）交通誘導員の配置 作業に応じて、2名を配置（一部交代要員あり） （2）配置期間 作業期間中
【5】 工事用道路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	☒ 無 ☐ 有	（搬入経路・使用期間等の制限） （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	☒ 無 ☐ 有	（仮設道路に関する安全施設） （工事後の措置、維持補修内容）

【6】 建設副 産物関 係	1	建設発生土が発生する場合について	☐ 無	(建設発生土の処分先)
			☒ 有	名称:愛川町田代受入地 住所:愛川町田代1951 業者:(株)織戸組 愛川事務所 電話:
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	☐ 無	(対象内容)
			☒ 有	☐ コンクリート塊 ☒ アスファルト塊 ☐ 建設発生木材 ☐ 建設発生木材(伐木・除根材) ☒ 建設汚泥 ☐ 建設混合廃棄物 ☐ 金属くず ☐ その他()
※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること。				
【7】 工事支 障物件	1	工事支障物件について(地下埋設物含む)	☐ 無	(対象内容)
			☒ 有	☐ 電柱 ☒ 上水道 ☒ 下水道 ☐ 電話 ☐ ガス管 ☐ 架空電線 ☐ 標識・看板 ☐ その他()
【8】 薬液注 入関係	1	薬液注入について	☒ 無	(対象内容)
			☐ 有	工法区分: 使用材料: 施工範囲、削孔数:発進到達 本 注入量:kℓ 施工管理基準等:
【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	☒ 無	(品名、数量等)
			☐ 有	
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	☒ 無	(品名、数量等)
			☐ 有	
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合	☒ 無	(品名、数量、搬入制限等)
			☐ 有	
	4	有価物(スクラップ等)処分費を計上している場合について	☒ 無	(品名等)
			☐ 有	

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

工 事 説 明 書

(特 記 仕 様 書)

工事件名 市道 495 号線舗装改修工事
工事場所 海老名市 社家二丁目 地内
市道名称 海老名市道 495 号線

1. 目 的

○本工事で排水構造物を敷設することにより、沿線住民の住環境及び
利便性向上を図る。

2. 仕 様 (施工監理)

○本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準
に基づき施工すること。

・As 舗装 (施工面積 221 m²)

コア抜き 1 個

※コア抜きについては、立会いのもと行うこと。

密度測定 1 個 (1,000 m²未満 3 個 別途 1,000 m²毎に 1 個追加)

※小規模のため、1 箇所とする

・路 盤 (施工面積 221 m²)

プルフローリング 該当 (300 m²以上実施)

密度測定 0 個 (1,000 m²に一個)

○原則として、アスベストを原料としていない建材を用いて施工する
こと。

又、使用材料については、アスベストを原材料としていない旨の証
明書をメーカーより提出させ、監督職員の確認を得ること。

○上記に無き内容については、監督員と協議する。又、施工計画書に
明記し、監督員の承諾を得ること。

3. 工程管理

○工期について

契約工期 令和 7 年 11 月 21 日～令和 8 年 2 月 27 日

○詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得る
こと。

4. 安全対策

- 工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者・道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。
- 特に作業を行わない時は、第三者の通行に対する、安全対策(保安灯、舗装摺付け・注意看板等により)を行うこと。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。
- 本工事範囲については学校が近接しているため、登下校時間帯の施工については、児童等の通行に十分注意して施工すること。

5. 仮設備関係

- 仮設備(現場事務所等)の建設は、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。
- 工事用電力・用水等は、請負業者の負担とする。

6. 道路関係

- 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
- 一般道路を使用する時は、関係法令を遵守し、道路管理者・交通管理者等の許可を得ること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

7. 建設副産物関係

- As 殻、Co 殻、路盤材の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

8. 海老名環境マネジメントシステム関係

- 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑えること。
- 低騒音・低振動型作業機械を使用すること。なお、写真管理をすること。
- 排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用すること。なお、写真管理をすること。
- 周辺住民の生活を妨げない作業時間帯を設定すること。
- 工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしないこと。

9. 法定外の労災保険の加入

- 本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入しなければならない。
- 受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示しなければならない。

10. その他工事全般

- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により、施工前に監督員と協議し、確認を得ること。
- 取壊し直近の構造物(ブロック塀等)は施工前に状態を確認し、必要があれば、地権者(所有者等)に立会いを求め、記録し監督員に報告をすること。
- 騒音・振動及び粉塵等工事沿線住民に対し、不利益になりうることは、工事期間及び時間等充分配慮し、施工にあたること。
- 施工範囲については、着工前に監督員の確認を行うこと。
また、道路縦断、横断勾配は、既設排水構造物等に合わせることを基本とするが、着工前に調査し、監督員に確認を行い施工すること。
- 舗装面積等の確認を行い、舗装施工前に監督員へ報告すること。
- 施工工程についても 5cm 以上の段差を生じさせないこと
- 舗装摺付けについては、道路縦横断方向及びマンホール周りは As 合材により施工を行うこと。横断方向及びマンホール周り、取り付け道路は、5%以下の勾配になるよう施工しその他は、10%以下の勾配にすること。
- マンホール蓋の高さについては、舗装施工前に調査し監督員へ報告すること。調整を要する場合は、施工前に協議を行うこと。
- 埋設物（水道等）の位置を事前に確認し、適切に処置を図ること。
- 工事施工方法については、交通管理者の許可条件に基づき計画すること。
- 舗装版の取り壊し量（施工範囲）については、舗装の日当たり施工量を考慮し計画すること。
- 地権者及び沿線住民と事前に工程等十分に調整し、トラブルのない様に努めること。
- 乳剤の散布時には飛散防止の養生を確実に行うこと。
- 消防施設とゴミ停が工事区間内にある場合は、関係部局へ届け出ること。
- 関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果た

すこと。

- 工事区域外の路面についても、工事車両による乳剤等による汚損が無いように対策を行い、万が一汚損が生じた場合は、誠意をもって対応すること。
- アスファルト混合物施工前に基層または路盤の状況を確認し、事前に監督員と協議し、確認を得ること。

舗装版切断時に発生する濁水処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第 1 条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第 2 条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第 3 条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条 件)

第 4 条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第 5 条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない

(その他)

第 6 条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

令和 7 年 度

市 道 4 9 5 号 線 舗 装 改 修 工 事 設 計 書

番 号	歩掛7.7 単価7.9	施 工 年 度	令和7年度
名 称	市道495号線舗装改修工事		
場 所	海老名市 社家二丁目 地内		
施 工 主	海老名市	概要 施工延長 L=58.9m 幅員 W=3.8m～4.0m 1 撤去工 1.0式 1 土工 1.0式 1 排水工 1.0式 1 舗装工 1.0式 1 付属施設工 1.0式 1 仮設工 1.0式	
設 計 区 分			
路 線 名	市道495号線		
期 間	令和 7年 11月 21日 ～ 令和 8年 2月 27日		
日 数	99 日		
部 課 名	まちづくり部道路管理課		
積 算 担 当	維持補修係		
合 計 額			
価 格			
消費 税 相 当 額			

内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	道路改良工事							場所区分：一般交通影響有り（2）
		撤去工		式	1			A- 1号内訳書
		土工		式	1			A- 2号内訳書
		排水工		式	1			A- 3号内訳書
		舗装工		式	1			A- 4号内訳書
		付属施設工		式	1			A- 5号内訳書
		仮設工		式	1			A- 6号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
工事原価	純工事費							
		現場管理費		式	1			

[illegible][illegible]

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	道路改良工事	工事日数(内冬日数)	99日/99日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(2)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 費 明 細 書

算

出

基

礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \quad \rightarrow \quad \therefore \quad \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

A- 5号		付属施設工					1式当たり	内訳書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
地先境界ブロック				m		30						C- 15号単価表	
計													

[illegible]

B- 1号		埋戻し					10m ³ 当たり	明細書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
埋戻し				m ³		10						C- 7号単価表	
再生クラッシャーラン		RC-40		m ³		12. 6							
計													
1 m ³ 当たり													

[illegible]

[illegible]

C- 1号		舗装版切断					1m当たり	単価表					
		アスファルト舗装版、15cm以下											
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下		m		1						施工P-01	
		舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下											
計													

C- 2号

1式当たり

单価表

鋪裝版切断濁水処理工

北部地区（処理費・運搬）

[illegible]

[illegible]

C-	3号単価表(施工P-01)	積算単位: m ²	標準単価:
	舗装版破碎		
	舗装版種別: アスファルト舗装版、障害等の有無: 無し、騒音振動対策: 必要、舗装版厚: 15cm以下		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械K										30.65					
	K 1	バックホ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機)／開口幅735～850mm 破碎力550～980kN				供/日				21.16					
	K 2	バックホ(クローラ、後超小旋回・超低騒音)賃料／山積0.45m3 (平積0.35m3)				日				9.49					
	K 3														
	K 4														
	K 5														
労務R										63.79					
	R 1	運転手(特殊)				人				28.25					
	R 2	普通作業員				人				24.76					
	R 3	土木一般世話役				人				10.78					
	R 4														
	R 5														
材料Z										5.56					
	Z 1	軽 油／ハトロール給油				ℓ				5.56					
	Z 2														
	Z 3														
	Z 4														
	Z 5														
市場S															

P' =

$$\begin{aligned}
&\times \left\{ \left(\frac{21.16}{100} \times \frac{100}{21.16+9.49} + \frac{9.49}{100} \times \frac{100}{21.16+9.49} \right) \times \frac{30.65}{21.16+9.49} \right. \\
&+ \left(\frac{28.25}{100} \times \frac{100}{28.25+24.76+10.78} + \frac{24.76}{100} \times \frac{100}{28.25+24.76+10.78} + \frac{10.78}{100} \times \frac{100}{28.25+24.76+10.78} \right) \times \frac{63.79}{28.25+24.76+10.78} \\
&+ \left(\frac{5.56}{100} \times \frac{100}{5.56} \right) \times \frac{5.56}{5.56} \\
&\left. + \frac{100-30.65-63.79-5.56}{100} \right\} =
\end{aligned}$$

[illegible]

C-	4号単価表(施工P-01)	積算単位: m ³	標準単価:
	殻運搬		
	殻発生作業: 舗装版破碎、積込工法区分: 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)、DID区間の有無: 有り、運搬距離: 6.0km以下		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械K										44.05					
K 1	タン	トラック	オン	ロード	・ディー	ゼ	ル	／	10t	積級+良好: タイヤ損耗費及び補修費	供/日	44.05			
K 2															
K 3															
K 4															
K 5															
労務R										39.87					
R 1	運	転手(一般)					人			39.87					
R 2															
R 3															
R 4															
R 5															
材料Z										16.08					
Z 1	軽	油	／	パ	ト	ロ	ル	給	油	0	16.08				
Z 2															
Z 3															
Z 4															
Z 5															
市場S															

P' =

×

{

(

$\frac{44.05}{100}$

×

)

×

$\frac{44.05}{44.05}$

+

(

$\frac{39.87}{100}$

×

)

×

$\frac{39.87}{39.87}$

+

(

$\frac{16.08}{100}$

×

)

×

$\frac{16.08}{16.08}$

+

$\frac{100-44.05-39.87-16.08}{100}$

}

=

[illegible]

C-	5号単価表(施工P-01)	積算単位:m ³	標準単価:
	掘削		
	土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)、施工数量:標準		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械K										26.01					
	K 1	バックホウ(クローラ型)		標準型	排対型(2次基準)	／	山積0.28m3(平積0.2m3)	供	/	日	26.01				
	K 2														
	K 3														
	K 4														
	K 5														
労務R										62.89					
	R 1	運転手(特殊)					人			62.89					
	R 2														
	R 3														
	R 4														
	R 5														
材料Z										11.10					
	Z 1	軽油	／	ハ	トル給油		ℓ			11.10					
	Z 2														
	Z 3														
	Z 4														
	Z 5														
市場S															

P ’ =

×
{
(
(
26.01
100
×

)
×

26.01
26.01

+
(
(
62.89
100
×

)
×

62.89
62.89

+
(
(
11.10
100
×

)
×

11.10
11.10

+

100-26.01-62.89-11.10
100
}
=

[illegible]

C- 6号単価表(施工P-01)	積算単位: m ³	標準単価:
土砂等運搬 土砂等発生現場: 小規模、積込機種・規格: バックホウ山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 土質: 土砂(岩塊・玉石混り土含む)、DID区間の有無: 有り、運搬距離: 27.0km以下		

	名 称	規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				26.52			
	K 1	タンポトラック オンロード・ディーゼル／4t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費	供/日	26.52			
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R				61.90			
	R 1	運転手(一般)	人	61.90			
	R 2						
	R 3						
	R 4						
	R 5						
材料Z				11.58			
	Z 1	軽 油／パトロール給油	ℓ	11.58			
	Z 2						
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{26.52}{100} \times \frac{26.52}{26.52} \right) \times \frac{26.52}{26.52} \right. \\ &+ \left(\frac{61.90}{100} \times \frac{61.90}{61.90} \right) \times \frac{61.90}{61.90} \\ &+ \left(\frac{11.58}{100} \times \frac{11.58}{11.58} \right) \times \frac{11.58}{11.58} \\ &\quad \left. + \frac{100-26.52-61.90-11.58}{100} \right\} = \end{aligned}$$

[illegible]

C-	7号単価表(施工P-01)	積算単位:m ³	標準単価:
	埋戻し		
	施工方法:上記以外(小規模)		

	名	称	／	規	格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K							8.87			
K 1	バックホウ(クローラ型)	後方超小旋回型	排対型(2次基準)	／	山積0.28m3(平積0.2m3)	供/日	8.27			
K 2	タンパ	及びランマ	ランマ	／	質量60～80kg	供/日	0.60			
K 3										
K 4										
K 5										
労務R							87.15			
R 1	普通作業員					人	50.03			
R 2	特殊作業員					人	19.35			
R 3	運転手(特殊)					人	17.77			
R 4										
R 5										
材料Z							3.98			
Z 1	軽 油	／	パトロール給油			ℓ	3.14			
Z 2	ガソリン	／	レギュラー,スタンド渡し			ℓ	0.84			
Z 3										
Z 4										
Z 5										
市場S										

P' =

×

{

(

$\frac{8.27}{100}$

×

+

$\frac{0.60}{100}$

×

)

×

$\frac{8.87}{8.27+0.60}$

+

$\frac{50.03}{100}$

×

+

$\frac{19.35}{100}$

×

+

$\frac{17.77}{100}$

×

)

×

$\frac{87.15}{50.03+19.35+17.77}$

+

(

$\frac{3.14}{100}$

×

+

$\frac{0.84}{100}$

×

)

×

$\frac{3.98}{3.14+0.84}$

+

$\frac{100-8.87-87.15-3.98}{100}$

}

=

C- 8号		自由勾配側溝設置工（L=2000mm）昼間 1000kg/個以下 制約無, 基礎碎石施工する					10m当たり	単価表					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
排水構造物工 昼間 自由勾配側溝		L2000 1000kg以下 制約無		m		10							
計													
1 m当たり													

C- 9号

1箇所当たり

单価表

現場打ち集水枡・街渠枡（本体）

[illegible]

C- 9号単価表(施工P-01)	積算単位:箇所	標準単価:
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) コンクリート規格:18-8-25(高炉)、1箇所当りコンクリート使用量:0.22m3を超え0.24m3以下 コンクリート打設工法:バックホウ(クレーン機能付)打設、養生工の種類:一般養生・特殊養生(練炭)		

	名 称	規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				0.73			
	K 1	バックホウ(クローラ、標準、クレーン機能付き)賃料／山積0.8m³(平積0.6m³)2.9t吊(排出ガス対策型含む)	日	0.62			
	K 2	バックホウ(クローラ、標準)賃料／山積0.8m³(平積0.6m³)(排出ガス対策型含む)	日	0.08			
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R				87.86			
	R 1	型わく工	人	35.19			
	R 2	普通作業員	人	27.20			
	R 3	土木一般世話役	人	11.05			
	R 4	特殊作業員	人	2.15			
	R 5						
材料Z				11.41			
	Z 1	生コンクリート(高炉セメント)／18-8-25(20), W/C指定無し	m³	10.72			
	Z 2	軽 油／バートル給油	ℓ	0.39			
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{0.62}{100} \times \frac{0.73}{0.62+0.08} + \frac{0.08}{100} \times \frac{0.73}{0.62+0.08} \right) \right. \\ &+ \left(\frac{35.19}{100} \times \frac{87.86}{35.19+27.20+11.05+2.15} + \frac{27.20}{100} \times \frac{87.86}{35.19+27.20+11.05+2.15} \right. \\ &+ \left(\frac{10.72}{100} \times \frac{11.41}{10.72+0.39} + \frac{0.39}{100} \times \frac{11.41}{10.72+0.39} \right) \times \frac{11.41}{10.72+0.39} \\ &\left. \left. + \frac{100-0.73-87.86-11.41}{100} \right\} = \end{aligned}$$

C- 10号

1枚当たり

单価表

蓋版設置工 (Co製・鋼製) 昼間

40kg/枚以下 制約無

[illegible]

C- 11号

1 m²当たり

单価表

表層（車道・路肩部）

再生密粒

[illegible]

C- 12号		不陸整正					1㎡当たり	単価表					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
不陸整正		補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:28mm以上34mm未満		㎡		1						施工P-01	
計													

C- 12号単価表(施工P-01)	積算単位: m ²	標準単価:
不陸整正		
補足材料の有無: 有り、補足材料平均厚さ: 28mm以上34mm未満		

	名 称	規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				16.98			
	K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2014年規制)／プレート幅3.1m	供/日	13.60			
	K 2	ロータリー(マダム) 賃料／質量 10～12 t (排出ガス対策型含む)	日	1.70			
	K 3	タイヤロー(普通型) 賃料／質量 13～14 t (排出ガス対策型含む)	日	1.68			
	K 4						
	K 5						
労務R				56.56			
	R 1	運転手(特殊)	人	27.80			
	R 2	普通作業員	人	11.45			
	R 3	特殊作業員	人	8.93			
	R 4	土木一般世話役	人	8.38			
	R 5						
材料Z				26.46			
	Z 1	再生粒度調整碎石／RM-40	m ³	21.30			
	Z 2	軽 油／バートル給油	ℓ	5.16			
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

×

{

(

13.60

100

×

+

1.70

100

×

+

1.68

100

×

)

×

16.98

13.60+1.70+1.68

+

(

27.80

100

×

+

11.45

100

×

+

8.93

100

×

+

8.38

100

×

)

×

56.56

27.80+11.45+8.93+8.38

+

(

21.30

100

×

+

5.16

100

×

)

×

26.46

21.30+5.16

+

100-16.98-56.56-26.46

100

}

=

[illegible]

C- 13号単価表(施工P-01)	積算単位: m ²	標準単価: 入力数量: 150mm
上層路盤 (歩道部)		
全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工		

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			4.66			
K 1	小型パ ックホ (クロー型) 超低騒・後方超小旋 排対型(3次基準)／山積0.09m3(平積0.07m3)	供/日	2.78			
K 2	振動ロー (舗装用、搭乗・コンバ イント 式) 賃料／質量 3～4 t (排出ガ ス対策型含む)	日	1.66			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			69.96			
R 1	運転手(特殊)	人	25.16			
R 2	特殊作業員	人	14.75			
R 3	普通作業員	人	14.61			
R 4	土木一般世話役	人	12.11			
R 5						
材料Z			25.38			
Z 1	再生粒度調整碎石／RM-40	m ³	23.44			
Z 2	軽 油／パ ートロール給油	ℓ	1.85			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

×

{

(

2.78

100

×

+

1.66

100

×

)

×

4.66

2.78+1.66

+

(

25.16

100

×

+

14.75

100

×

+

14.61

100

×

+

12.11

100

×

)

×

69.96

25.16+14.75+14.61+12.11

+

(

23.44

100

×

+

1.85

100

×

)

×

25.38

23.44+1.85

+

100-4.66-69.96-25.38

100

}

=

[illegible]

C- 14号単価表(施工P-01)	積算単位: m ²	標準単価:
下層路盤 (歩道部)		入力数量: 200mm
全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工		

	名	称	／	規	格	単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械K							5.00			
	K 1	小型パ ックホ (クロー型) 超低騒・後方超小旋 排対型(3次基準)／山積0.09m3(平積0.07m3)				供/日	2.99			
	K 2	振動ロー (舗装用、搭乗・コンバ イント 式) 賃料／質量 3～4 t (排出ガ ス対策型含む)				日	1.78			
	K 3									
	K 4									
	K 5									
労務R							75.15			
	R 1	運転手(特殊)				人	27.03			
	R 2	特殊作業員				人	15.84			
	R 3	普通作業員				人	15.70			
	R 4	土木一般世話役				人	13.01			
	R 5									
材料Z							19.85			
	Z 1	再生クラ ッシャーラン／RC-40				m ³	17.77			
	Z 2	軽 油／パ トロール給油				ℓ	1.99			
	Z 3									
	Z 4									
	Z 5									
市場S										

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{2.99}{100} \times \frac{5.00}{2.99+1.78} + \frac{1.78}{100} \times \frac{5.00}{2.99+1.78} \right) \right. \\ &+ \left(\frac{27.03}{100} \times \frac{75.15}{27.03+15.84+15.70+13.01} + \frac{15.84}{100} \times \frac{75.15}{27.03+15.84+15.70+13.01} \right. \\ &+ \left. \left. \left(\frac{17.77}{100} \times \frac{19.85}{17.77+1.99} + \frac{1.99}{100} \times \frac{19.85}{17.77+1.99} \right) \right. \right. \\ &\quad \left. \left. + \frac{100-5.00-75.15-19.85}{100} \right\} = \end{aligned}$$

[illegible]

C- 16号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

交代要員なし

[illegible]

C- 17号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

交代要員あり

[illegible]

市道495号線舗装改修工事			材料費(30)		材料調書全体明細表	
(単位:円)						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
生コンクリート(高炉セメント)	18-8-25(20), W/C指定無し	m ³	3.438			
再生粒度調整砕石	RM-40	m ³	12.522			
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	8.618			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(13)	t	27.842			
都市型側溝可変タイプ UG-250*300*L=2,000	排水性W、ファインステップ 360*443.4*2000	本	13.5			
クレーチング 普通目ボルト固定T-14 内径400×400用	ノンスリップ、4面受枠共・ゴムパッキン付	枚	2			
ガソリン	レギュラー, スタント渡し	ℓ	8.615			
軽油	パトロール給油	ℓ	211.337			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	ℓ	278.05			
地先境界ブロック	120×120×600(A)	個	49.487			
コンクリートカッタ(プレート)	径18インチ	枚	0.024			
材料費計						

[illegible]

数量計算書

工 種	計 算 式	数 量	単位
○撤去工			
舗装版切断 (t=5cm)			
(t=15cm以下)	3.5 + 3.2 + 3.9 + = 10.6	10	m
舗装版切断濁水処理工 (t=5cm)		1.0	式
(北部地区)			
舗装版取壊し工 (t=5cm)	A= CAD求積より (グレー) = 221.5	221	m ²
(舗装版厚15cm以下)	221.5		
舗装版運搬・処分			
廃材運搬工 (DID有り)			
(10t車(良好) 距離5.5km以下)	V= 221.5 + = 221.5		
	221.5 × 0.05 = 11.1	11	m ³
廃材処理料(北部地区)			
(As殻)	V= 11.0 = 11.0	11	m ³

数量計算書

[illegible]

上段:当初
下段:変更

土 量 計 算 書 (床掘・掘削)

測 点	区間距離 (m)	床掘			掘削			摘 要
		断面積 (m2)	平均 断面積 (m2)	土 量 (m3)	断面積 (m2)	平均 断面積 (m2)	土 量 (m3)	
NO.0 + 0.000	0.000	0.75						横断面より 平面図より
NO.0 + 0.700	0.700	0.75	0.750	0.53				断面変わり
NO.0 + 0.700	0.000	0.40						
NO.0 + 10.000	9.300	0.40	0.400	3.72				
NO.0 + 15.323	5.323	0.40	0.400	2.13				IP点
NO.1 + 0.000	4.677	0.40	0.400	1.87				
NO.1 + 9.200	9.200	0.40	0.400	3.68				断面変わり
NO.1 + 9.200	0.000	0.00						
NO.1 + 9.900	0.700	0.00	0.000	0.00				断面変わり
NO.1 + 9.900	0.000	0.14						
NO.2 + 0.000	10.100	0.14	0.140	1.41				
NO.2 + 6.800	6.800	0.13	0.135	0.92				
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
合 計	46.800	床掘 計		14.26			0.00	

上段:当初
下段:変更

土 量 計 算 書 (埋戻)

測 点	区間距離 (m)	砕石埋戻 (RC-40)			砕石埋戻 (RC-10)			摘 要
		断面積 (m2)	平均 断面積 (m2)	土 量 (m3)	断面積 (m2)	平均 断面積 (m2)	土 量 (m3)	
NO.0 + 0.000	0.000	0.03						横断図より 平面図より
NO.0 + 0.700	0.700	0.03	0.030	0.02				断面変わり
NO.0 + 0.700	0.000	0.04						
NO.0 + 10.000	9.300	0.04	0.040	0.37				
NO.0 + 15.323	5.323	0.04	0.040	0.21				IP点
NO.1 + 0.000	4.677	0.04	0.040	0.19				
NO.1 + 9.200	9.200	0.04	0.040	0.37				
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
+								
合 計	29.200	埋戻 計	1.16				0.00	

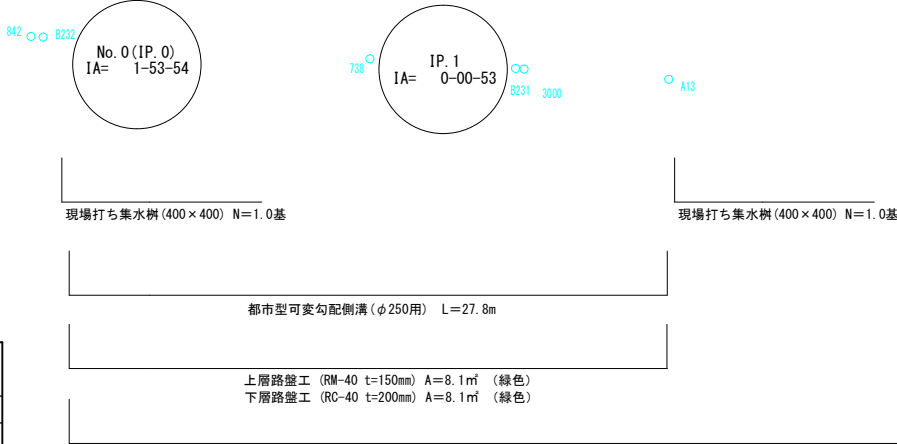
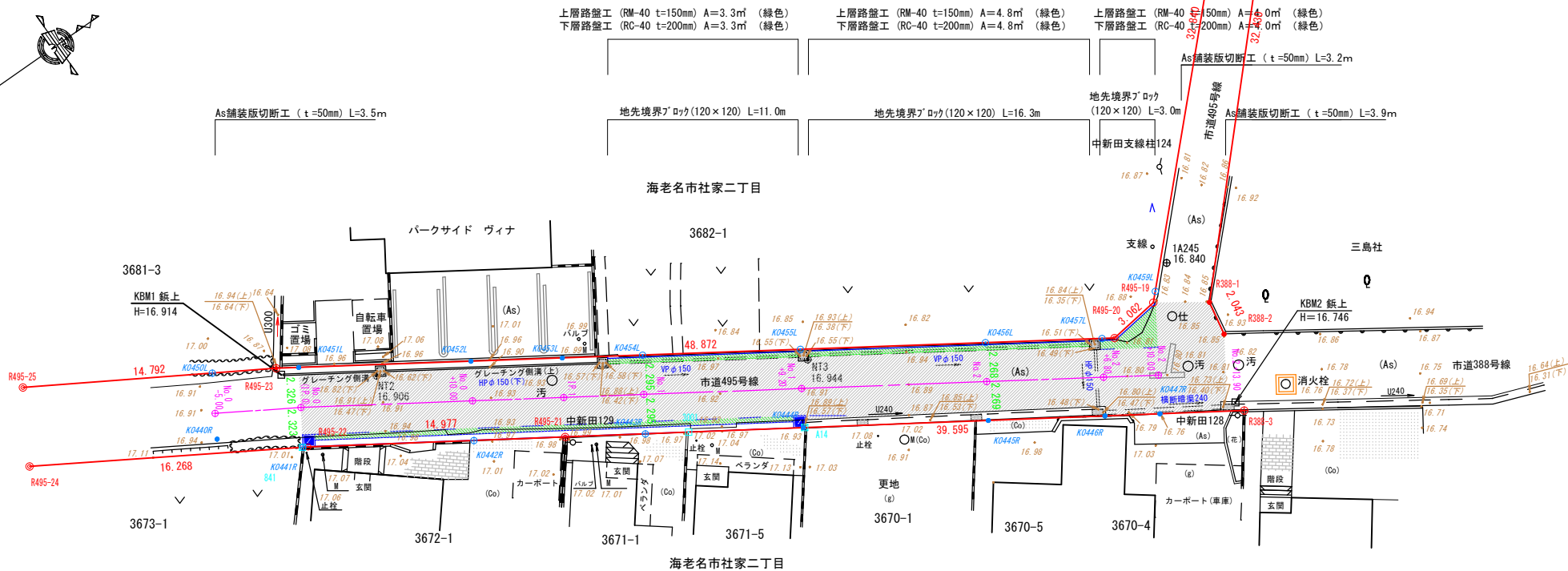
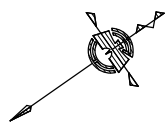
数量計算書

[illegible]

数量計算書

[illegible]

令和7年度
市道495号線舗装改修工事
計画平面図 縮尺 1 : 250



凡 例			
⊕	基準点	○支	支線柱
□	水準点 (KBM)	○標	標識
—	ブロック塀	○外	外灯
—	L型側溝	Ⓟ	駐車場
—	U型側溝	○電	信号機
—	植生界	○電	郵便ポスト
—	グレーチング	○電	園庭
—	生垣		田
—	フェンス	▽	畑
—	土留	—	建物
—	柵	—	無壁舎
— x —	有刺鉄線	—	コンクリートタタキ
—	法面	○汚	汚水マンホール
—	簡易柵 (単管パイプ)	○雨	雨水マンホール
(As)	アスファルト	○仕	仕切弁
(Co)	コンクリート舗装	○g	ガスマンホール
(g)	砂利	○止	止栓 (バルブ)
—○—	電柱	○落	落葉樹
—●—	電話柱		

杭記号	杭種
◎	市石杭
⊙	市金属標
●	民石杭
⊗	民金属標
⊕	民金属板
⊗	プラスチック杭
○	木杭
●	図上点

境界点座標リスト (地積測量図)		
点名	X座標値	Y座標値
738	-63513.586	-41268.594
841	-63507.534	-41251.515
842	-63501.240	-41258.673
3000	-63519.211	-41273.119
3001	-63526.463	-41263.696
A13	-63524.463	-41277.368
A14	-63532.162	-41267.365
B231	-63518.894	-41272.862
B232	-63501.686	-41259.026

世界測地系(測地成果2011)

世界測地系(測地成果2011)

座標リスト(新設点)		
点名	X座標値	Y座標値
NT1	-63462.096	-41227.401
NT2	-63513.466	-41250.575
NT3	-63534.576	-41264.219

座標リスト(既設点)		
点名	X座標値	Y座標値
4N0.018	-63364.924	-41232.529
4N0.019	-63417.670	-41266.447
1A245	-63554.952	-41271.604

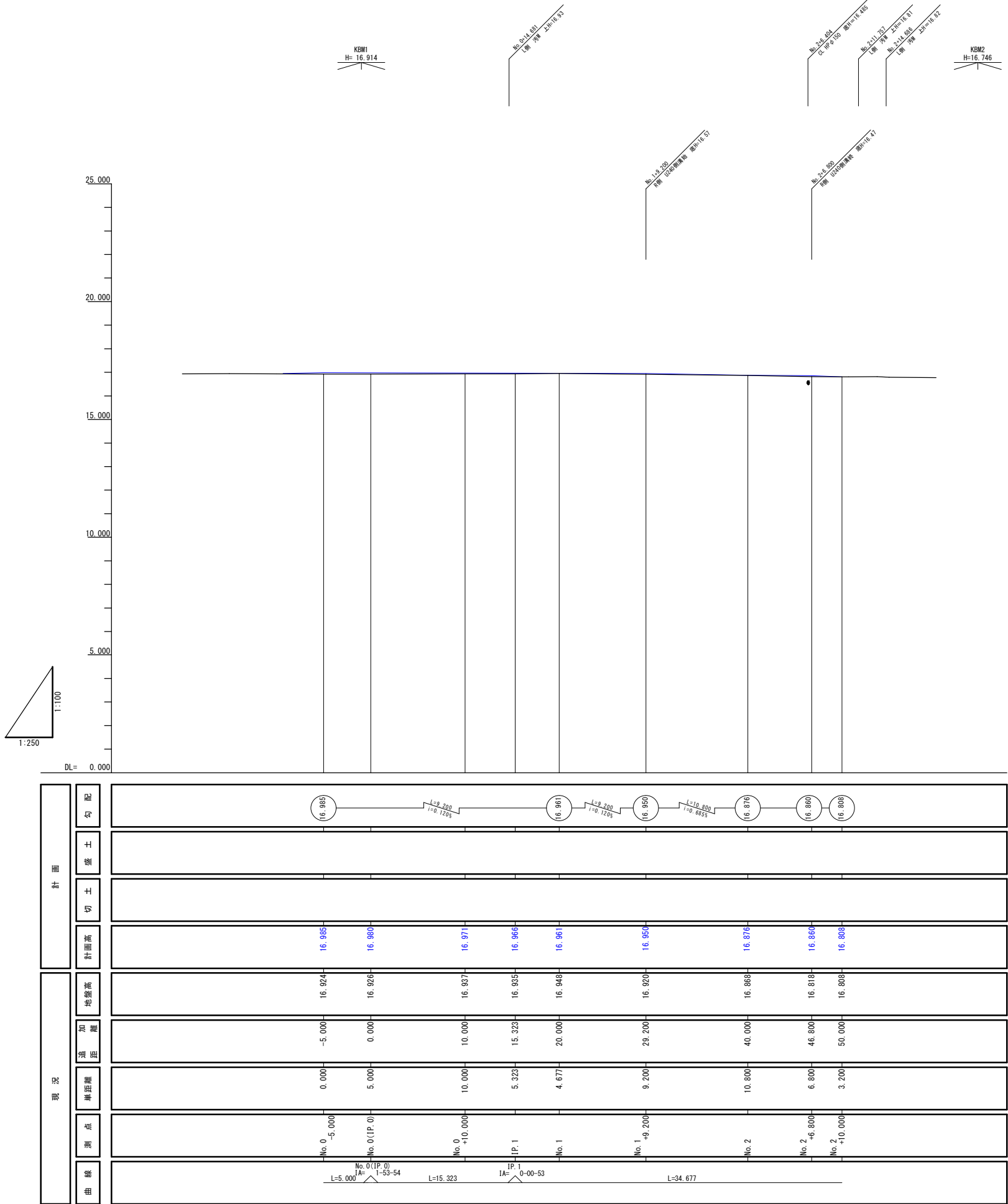
中心線座標リスト		
点名	X座標値	Y座標値
No. 0-5.00	-63504.508	-41246.992
No. 0 (IP. 0)	-63508.797	-41249.563
No. 0+10.00	-63517.199	-41254.985
IP. 1	-63521.671	-41257.872
No. 1	-63525.600	-41260.409
No. 1+ 9.20	-63533.328	-41265.400
No. 2	-63542.401	-41271.259
No. 2+ 6.80	-63548.114	-41274.948
No. 2+10.00	-63550.802	-41276.684

境界点座標リスト		
点名	X座標値	Y座標値
R388-1	-63555.669	-41274.911
R388-2	-63555.302	-41276.921
R388-3	-63553.710	-41281.241
R495-17	-63577.858	-41251.259
R495-18	-63576.014	-41249.641
R495-19	-63552.986	-41273.055
R495-20	-63549.948	-41273.443
R495-21	-63520.420	-41259.804
R495-22	-63507.829	-41251.692
R495-23	-63508.927	-41246.877
R495-24	-63493.882	-41243.316
R495-25	-63496.207	-41239.325

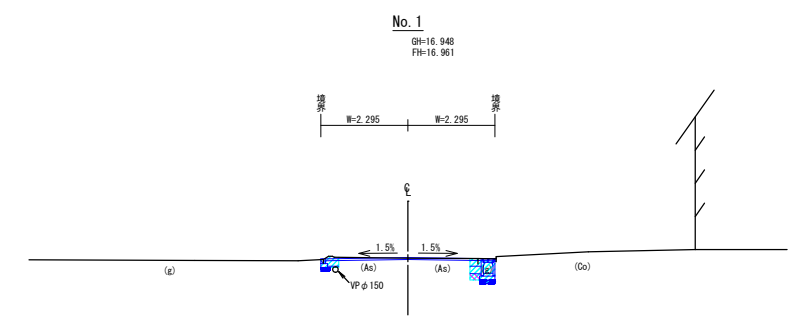
幅杭点座標リスト(境界線上点)		
点名	X座標値	Y座標値
K0440R	-63503.737	-41248.279
K0441R	-63507.569	-41251.536
K0442R	-63515.948	-41256.923
K0443R	-63524.355	-41262.338
K0444R	-63532.089	-41267.318
K0445R	-63541.170	-41273.166
K0446R	-63546.887	-41276.848
K0447R	-63549.578	-41278.580
K0450L	-63505.719	-41244.972
K0451L	-63510.026	-41247.588
K0452L	-63518.451	-41253.045
K0453L	-63522.919	-41255.939
K0454L	-63526.845	-41258.481
K0455L	-63534.567	-41263.482
K0456L	-63543.632	-41269.353
K0457L	-63549.340	-41273.049
K0459L	-63553.450	-41272.583

世界測地系(測地成果2011)

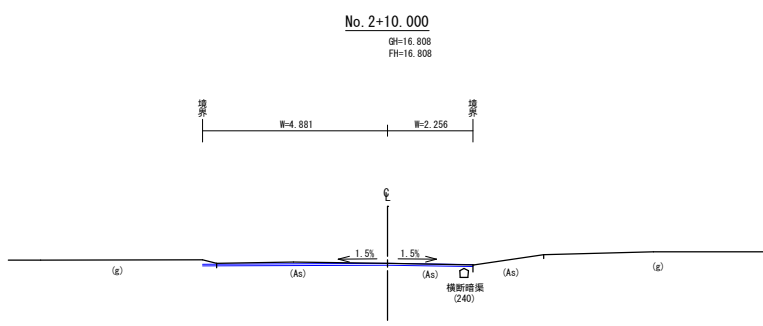
工事名	令和7年度 市道495号線舗装改修工事		
	市道495号線		
工事場所	海老名市社家二丁目地内		
図面名	計画平面図	縮尺	1 : 250
	全 5 葉の内第 1 号		
図面番号	神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所		



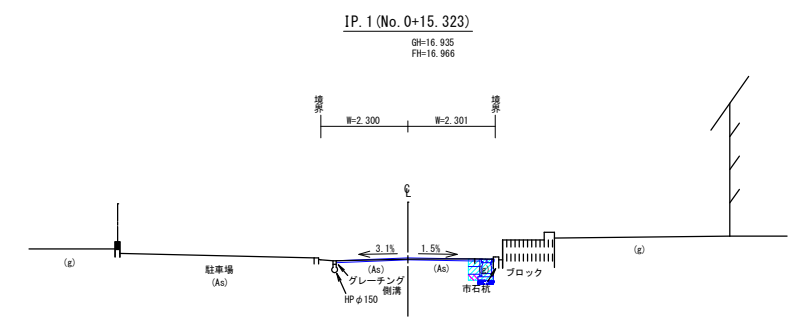
工 事 名	令和 7 年度 市道495号線舗装改修工事		
路 線 名	市 道 4 9 5 号 線		
工事場所	海老名市社家二丁目地内		
図 面 名	縦断面図	縦断	縦：1：100 横：1：250
図面番号	全 5 葉の内第 2 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			



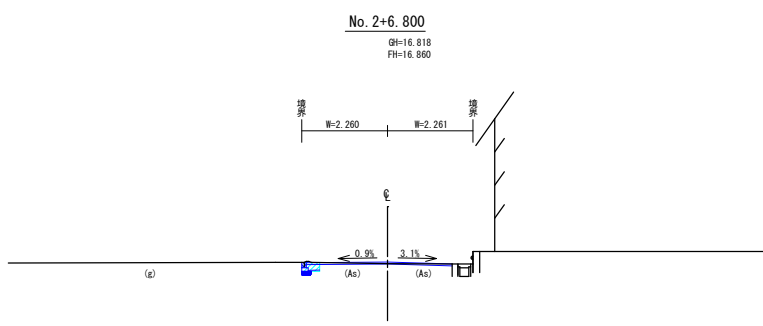
凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	0.40
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	0.04
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



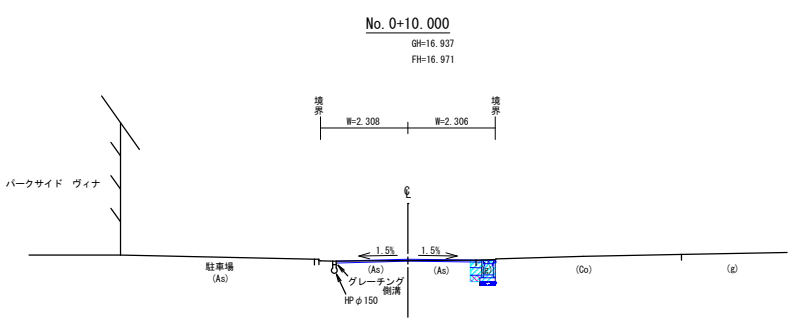
凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



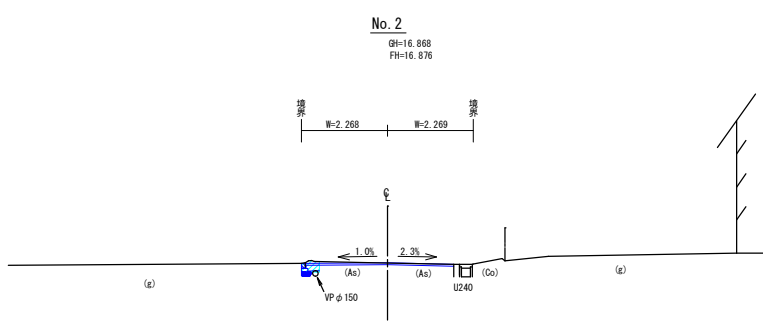
凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	0.40
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	0.04
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



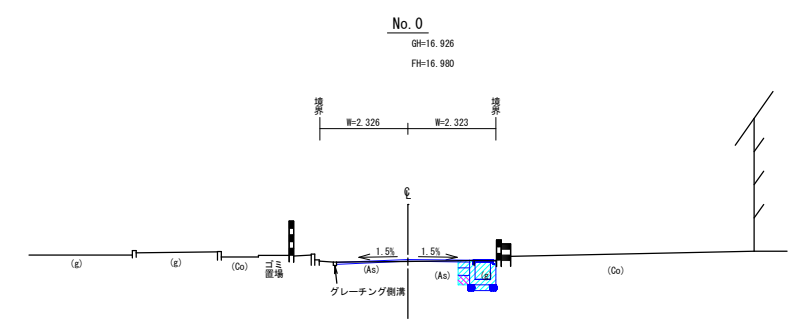
凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	0.13
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



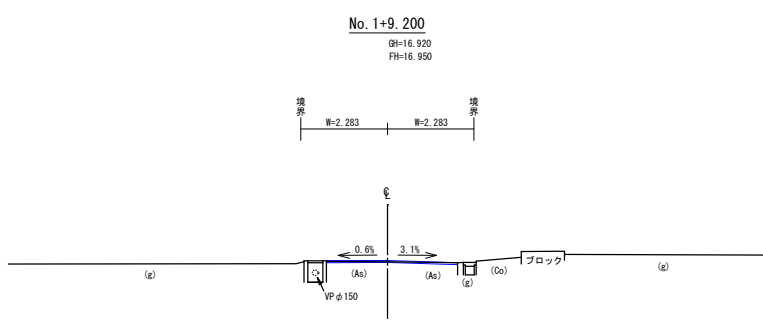
凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	0.40
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	0.04
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



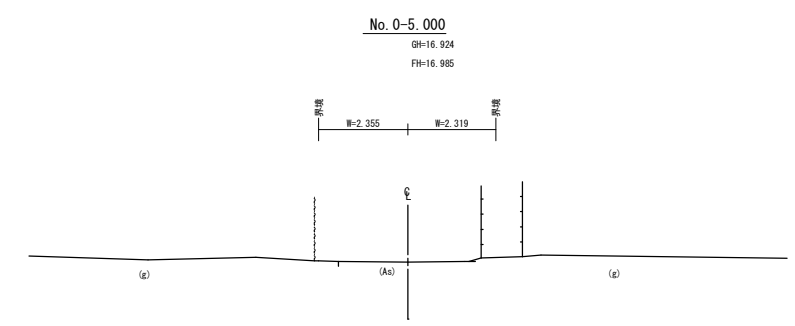
凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	0.14
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	0.75
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	0.03
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—



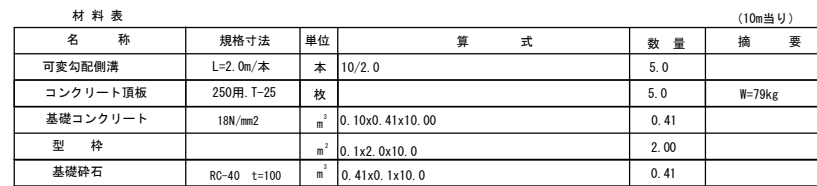
凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	—
C 2	(㎡)	機械床掘	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	—
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	—

凡 例			
C 1	(㎡)	機械掘削	
C 2	(㎡)	機械床掘	
B 2	(㎡)	機械埋戻・砕石	
B 2	(㎡)	機械埋戻・発生土	

工 事 名	令和 7 年度 市道495号線舗装改修工事		
路 線 名	市 道 4 9 5 号 線		
工事場所	海老名市社家二丁目地内		
図 面 名	横断面図	変改	1 : 100
図面番号	全 5 葉の内第 3 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

構造図(1)

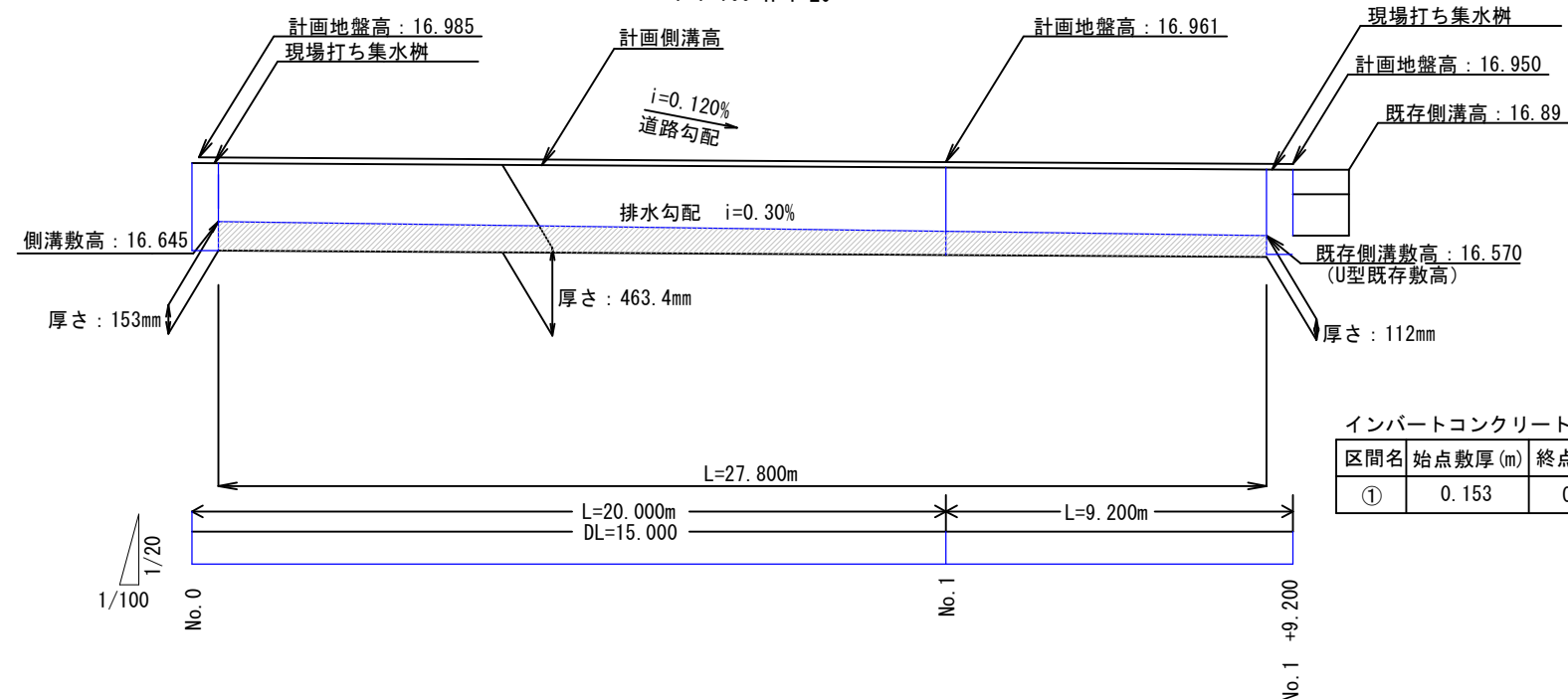
S=1:10



S=1:10



V=1:100 H=1:20



区間名	始点敷厚 (m)	終点敷厚 (m)	平均厚 (m)	式 (平均厚×延長×0.25 (内径))	コンクリート量 (m3)
①	0.153	0.112	0.133	$0.133 \times 27.8 \times 0.25$	0.92

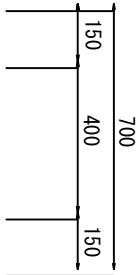
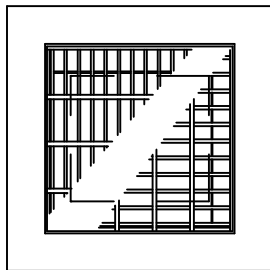
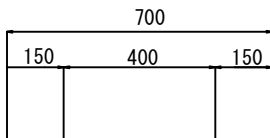
工 事 件 名	令和 7 年度 市道495号線舗装改修工事		
路線 名 称	市道495号 線		
工事 場 所	海老名市社家二丁目地内		
図面 名 称	構造図(1)	縮尺	図 示
図面 番 号	全 5 葉の内第 4 号		
神奈川県海老名市役所			

令和 7 年度
市道495号線舗装改修工事
海老名市社家二丁目地内
縮 尺 S=1 : 10
構造図 (2)

構造図 (2) S=1:10

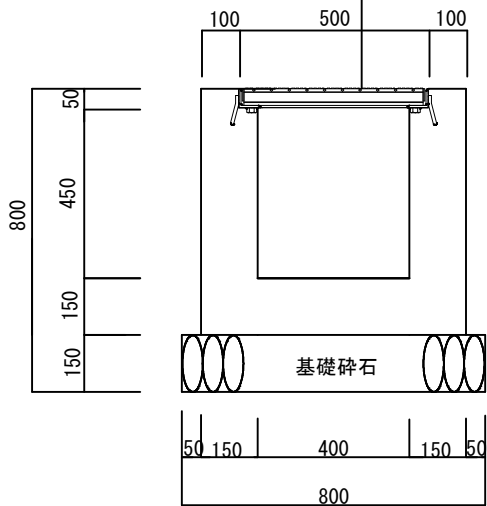
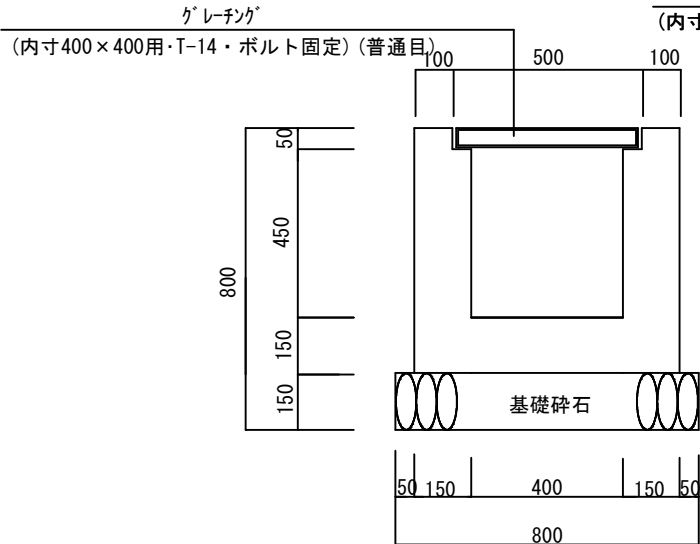
集水桝

(内寸400×400×450)



グレーチング

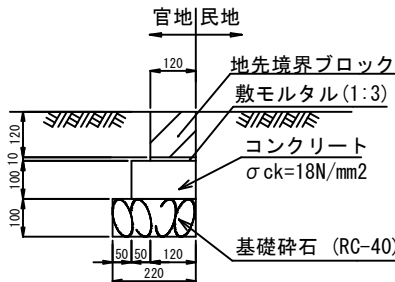
(内寸400×400用・T-14・ボルト固定) (普通目)



材 料 表		(10箇所当り)			
名 称	規格寸法	単位	算 式	数 量	摘 要
グレーチング蓋	400×400×66 普通目・T-14	枚	10/1.0	10.0	
コンクリート	18N/mm2	m ²	(0.7×0.7×0.65-0.4×0.4×0.45-0.5×0.5×0.05)×10	2.34	
型 枠	1 : 3	m ³	0.7×0.65×4+0.4×0.45×4+0.5×0.05×4×10	26.4	
基礎碎石	18N/mm2	m ²	0.8×0.8×10.00	6.4	

地先境界ブロック

S=1:10



材 料 表		(10m当り)			
名 称	規格寸法	単位	算 式	数 量	摘 要
地先境界ブロック	20x120x600	個	10/0.605	16.5	L=0.60m/本
敷モルタル	1:3	m ³	0.120x0.010x10.000	0.012	
コンクリート	18N/mm2	m ³	0.170x0.100x10.000	0.170	
型 枠		m ²	0.100x2x10.000	2.000	
基礎碎石	RC-40 t=100	m ²	0.220x10.000	2.200	

工 事 件 名	令和 7 年度 市道495号線舗装改修工事		
路 線 名 称	市 道 495 号 線		
工 事 場 所	海 老 名 市 社 家 二 丁 目 地 内		
図 面 名 称	構 造 図 (2)	縮 尺	図 示
図 面 番 号	全 5 葉 の 内 第 5 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			